

大月駅周辺地区

都市再生整備計画事業に係る事後評価結果を公表します

平成 19 年度から大月駅周辺地区で駅前広場の整備事業などに取り組んだ都市再生整備計画事業(旧まちづくり交付金事業)の交付期間が、平成 23 年度で完了しました。(大月駅周辺の整備には引き続き完了に向けて取り組みます。)

このたび、昨年 11 月に市民の皆さまから頂いたご意見も参考にしながら、各種事業がもたらした成果や今後のまちづくりの方向性等について事後評価委員会にて有識者を交えた審議を行い、事後評価結果として取りまとめました。

この結果を皆さまに広くご理解いただくために、公表いたします。

■大月駅周辺地区の事後評価結果の公表について

- ・公表期間:平成 24 年5月1日(火)~平成 25 年3月29日(金)
- ・「事後評価結果」及び「都市再生整備計画書」がご覧いただけます。
- ・大月市のホームページのほか、大月駅周辺整備室の窓口でも閲覧することができます。

◆ 問い合わせ先

大月市産業建設部 地域整備課 大月駅周辺整備室
大月市大月町花咲1608番地19
ダイヤルイン:0554-20-1863
FAX:0554-20-1533

大月駅周辺のまちづくり

都市再生整備計画事業 事後評価結果を公表します

平成19年度から大月駅周辺で駅前広場整備などに取り組んでいる都市再生整備計画事業(旧まちづくり交付金事業)の交付期間が、平成23年度で完了しました。(大月駅周辺の整備には引き続き完了に向けて取り組みます。)
 このたび、昨年11月に市民の皆様から頂いたご意見も参考にしながら、各種事業がもたらした成果や今後のまちづくりの方向性等について事後評価委員会にて有識者を交えた審議を行い、事後評価結果として取りまとめました。
 この結果を皆さまに広くご理解いただくために、公表いたします。

大月駅周辺地区の計画概要

■まちづくりの目標 大月駅周辺地区では、「まちづくりの目標」を次の通り設定しました。

【大目標】
 交通結節機能の強化を契機にした、
 安全・安心で快適な生活環境の創出と中心市街地の活性化

目標1	目標2	目標3
駅南北における交通機能の新設・改善と南北の連絡機能強化 — 「交通結節機能の強化」 関連する指標 ●指標1: 駅利用者(乗車人員) 従前値 7,181人(平成17年度) 目標値 7,540人(平成23年度) ↓ 評価値 6,054人(平成23年度) ●その他指標1: 「駅前広場の交通施設の安全性向上」の評価点 従前値 (3点) ^(※1) 目標値 - ^(※2) ↓ 評価値 4.14点(平成23年度)	活力ある中心市街地の再生に向けた安全・快適な生活環境の創出 — 「安全で快適な交通基盤の整備」 関連する指標 ●指標2: 歩行環境の満足度 従前値 3.7%(平成17年度) 目標値 50.0%(平成23年度) ↓ 評価値 68.9%(平成23年度) ●その他指標2: 「駅周辺のバリアフリー状況」の評価点 従前値 (3点) ^(※1) 目標値 - ^(※2) ↓ 評価値 3.87点(平成23年度)	自然と歴史を取り込んだ大月の顔となるまちなみ景観の創出 — 「良好な景観形成」 関連する指標 ●その他指標3: 「駅周辺整備により景観向上」の評価点 従前値 (3点) ^(※1) 目標値 - ^(※2) ↓ 評価値 3.96点(平成23年度) その他 (中心市街地の活性化に関連) ●指標3: 住民参加のイベント等参加者数 従前値 18,600人 目標値 25,000人 ↓ 評価値 60,700人(平成23年度)

※1 従前を3点とし、従前と比較してどう感じるかを5点満点で評価するアンケート調査を行いました。
 ※2 採択以降に指標を追加したため目標値は設定していません。
 尚、評価値については、平成23年10月時点の推計値ですので、いずれも来年度再計測を実施します。

まちづくりの効果

- 駅とバイパスのアクセス等、都市基盤施設の改善が進み、線路南側から駅へのアクセス性が向上しましたが、南北方向の交流の状況は改善されていません。また駅北側については大月脈岡線の整備などにより動線が生まれていますが、駅アクセスは未だ改善の余地があります。南北自由通路の整備等、凍結された事業が課題となっています。
- 民営のコインパーキングの整備が実施された箇所が出るなど、一部土地利用の萌芽が見られますが、駅北側の大規模空地の土地利用は未だ促進されておらず、土地利用規制の見直しも進んでいません。
- 駅周辺で安全で安心して利用できる歩行者空間が確保されましたが、市民や来街者が滞留できるゆとりある空間が十分とは言えません。
- 駅とバイパスのアクセス等都市基盤整備の改善が進み、線路南側から駅へのアクセス性が向上しましたが、線路北側からのアクセスは未だ改善しておらず、線路南側は中心市街地として相応しい機能の導入がまだ十分とは言えません。
- 線路南側の地区内歩行環境が改善され、バリアフリー化を進めることが出来ましたが、未だバリアフリー未対応の道路が存在します。

今後のまちづくり方策

- 線路南側から駅への良好なアクセス環境の維持のため、南北方向の交流を活性化するための動線の確保・交流のための空間整備を検討します。
- 整備された良好な歩行環境を維持するため、適切な維持管理を実施し、今回整備された良好な歩行環境を長く維持していきます。
- 路線を中心とした南北方向の交流を活性化するため、南北方向の交流を活性化するための動線の確保・交流のための空間整備を検討します。
- 駅北側の大規模空地の土地利用の促進と、土地利用規制の見直しを行い土地利用の促進を図るため、駅北側市街地の将来像を検討するなど、民間活力導入のための方策を検討します。
- 市民や来街者が滞留できるゆとりある空間の整備が不十分なため、身近に使える空地等の整備を検討します。
- 線路北側からの駅へのアクセス改善のため、鉄道北側から駅へのアクセス改善方策を検討します。また、凍結されている事業の課題検討を行います。
- 地区内のバリアフリー未対応箇所へ対応するため、バリアフリー未対応の道路でも、バリアフリー化の推進を検討します
- 地区内の更なる魅力向上に努め、「コンシェルジュ事業」やJR等が実施するイベント(「駅からハイク」「エキボ」「八駅八山八富士トレッキング」など)とも連携するよう取り組みます。

■大月駅前完成イメージパース



■事後評価結果をご覧になれます

この事後評価結果の詳細については、大月駅周辺整備室の窓口で閲覧できます。

お問い合わせは、大月駅周辺整備室まで